

UAV（ドローン）で地形を3D化、豪雨防災に活用 ～ 地域ハザードマップの作成や、災害時の情報収集に活用～

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（都産技研）は、**基盤研究から「ドローンによる豪雨災害集水シミュレーション技術」を開発しました。**迅速に地形を3Dデータ化することで防災対策の調査を支援、地域のハザードマップの作成や、災害発生時の状況把握などでも活用できます。

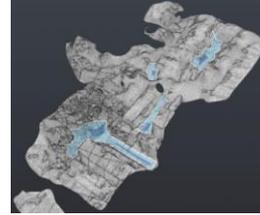
UAV（ドローン）により地形を3Dデータ化、CADシミュレーションで集水箇所を推測

豪雨災害警戒区域は全国に67万カ所以上もあり、その膨大な区域の防災整備に対応するための、より短時間・低コストでの調査技術が必要となっています。本研究では、**UAV（ドローン）による地形の3D化により、豪雨の集水地点を推測**し、調査効率を大幅に向上しました。これまで1ヶ月以上必要とされていた集水地形の調査を約1日まで短縮することで、より多くの地域の豪雨防災調査を可能にしました。地形を3Dデータ化することで、立体的な状況把握による短時間・低予算での調査が可能となり、**地域のハザードマップの作成に活用**できます。



UAV（ドローン）による高精細な航空写真から、短時間で地形の3Dデータを作成

本研究は、都産技研エンジニアリングアドバイザー（ドローン専門）のオペレーションにて地権者の許諾のもと、安全に配慮した調査を行いました。国土交通省飛行許諾取得済



CADシミュレーションにより、雨水の集中するポイントを推測



推測データで現地調査を効率化、地域の防災対策を支援

TIRIクロスミーティング2018にて、研究成果の発表を行います。

「ドローンによる豪雨災害集水シミュレーションと避難マップへの活用」～ドローン調査の手順など～

日時 7月13日（金）13：00～13：20

場所 東京都立産業技術研究センター本部

TIRIクロスミーティング
特設サイト



【お問い合わせ】

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

デザイン技術グループ 木村 千明 TEL 03-5530-2180 FAX 03-5530-2765

経営企画部経営企画室 竹内 由美子 TEL 03-5530-2521 FAX 03-5530-2536

<http://www.iri-tokyo.jp/>

配布担当 東京都立産業技術研究センター経営企画部 経営企画室 広報係 TEL 03-5530-2521

